



JAとよころ広報誌

火皇

か が や さ

「泰雅くん 共進会にて」

2022.7

vol.215



取扱高最高額更新130億円超 第44回 通常総会



5月20日、第44回通常総会を開催しました。昨年に引き続き本総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため従前より形式を変更のうえ実施し、主に書面による議決権行使により219名が出席しました。

冒頭は山口組合長より「今もお新型コロナウイルス感染に目途がつかず、次年は無事終息の上での開催を望むばかりである。令和3年度を振り返ると、春耕期から好天に恵まれ順調に作業が進み小麦の単収は史上最高となり、小豆は花時期に高温の影響もあり収量減となったが、ほか豆類は量、質ともに良好であり、馬鈴薯、甜菜も増収した。生乳出荷量および個体販売額も伸長し、畑作部門は49億円余り、酪農畜産部門は81億円で取扱高は130億円を超え史上最高額となった。組合員皆様の努力のたまものであり、敬意を表する。数年干ばつ傾向であるが、本町の農業は以前より町や関係機関の支援により生産基盤整備の強化に成果をあげている。また、耕畜連携による豊かな土づくりを重要とし、豊穡の出来秋を迎えたい。」



と開会挨拶を述べました。

議事の進行に際しては、議長に相澤博美さんを選任し議案書に沿って議事を諮りました。議事は前年度より会計監査人監査が始まり令和3年度決算貸借対照表、損益計算書、注記表は報告になりました。令和3年度事業報告、剰余金処分案、令和4年度事業計画など全6案を提出し、審議の結果、全て原案通り可決しました。

事業計画の大綱（一部抜粋）

昨年実施の第30回 J A 北海道大会において掲げた【J A 運営の好循環】を実践するため、組合員との対話を通じて加速する社会・経済環境の変化へ適応し、持続可能な経営基盤の強化と人づくりに取り組んでまいります。

実践事項

- ◆出資金増口計画
- ◆緊急暗渠排水整備事業
- ◆電気牧柵導入に対する助成措置
- ◆土壌・飼料分析に関する助成措置
- ◆家畜糞尿処理対策
- ◆断水時における給水対策
- ◆家畜防疫対策
- ◆農業融資の有効活用
- ◆農業振興計画・中期経営計画の達成、次期計画樹立に向けた意見収集
- ◆農薬等使用基準の適正化
- ◆廃プラスチックの適正処理
- ◆人間ドック・脳ドック・PET 検査の受診奨励

山口組合長は閉会挨拶で、「コロナ禍またはロシアによるウクライナへの軍事侵攻により営農に必要な燃油、生産資材及び穀物価格が高騰し、農業者は高コストの中で経営を実践し、今まで以上に高い技術が問われている。組合員皆様の努力が報われる一年になるようサポートしたい。」と述べました。

生産組織定期総会報告

令和4年度の役員体制をお知らせいたします。

農産関係

豊頃町麦作振興会

会長 原田 二次雄
副会長 堀田 和 稔
副会長 松井 優 博

豊頃町加工馬鈴薯生産組合

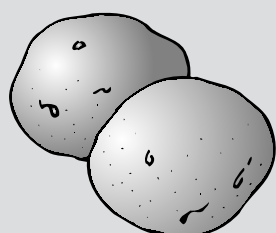
組合長 原田 二次雄
副組合長 愛澤 利 憲

豊頃町種子馬鈴薯生産組合

組合長 山崎 仁 志
副組合長 植村 有 見

豊頃町北星豆類採種組合

組合長 吉村 和 敏
企画部長兼会計 永原 和 也



畜産関係

豊頃町酪農振興会

会長 相澤 和 幸
副会長 津久井 直 弘

豊頃酪農ヘルパー

有限責任事業組合

組合長 井下 清 人
副組合長 軍司 正 人

豊頃町乳牛改良同志会

会長 吉田 孝 嗣
副会長 門 晃 司
副会長 鈴木 健 司

豊頃町乳牛検定組合

組合長理事 田頭 保 保
副組合長理事 杉岡 慎 也

豊頃町和牛生産改良組合

組合長 武隈 英 和
副組合長 日下 貴 弘

豊頃町馬事振興会

会長 宝田 浩 二
副会長 原田 哲 仁

宮農関係

豊頃町農協生き甲斐部

部長 加藤 敏
副部长 津久井 清 美

豊頃町農協青年部

部長 高橋 智 紀
副部长 石田 雅 哉
書記長 鈴木 雄 大
畑作部会長 川口 知 紘
畜産部会長 武内 創

J A 豊頃町女性部

部長 田頭 綾 子
副部长 松崎 幸 子
副部长 植村 雅 美
すみれ部会長 津久井 淑 恵
ミセス部会長 按田 成 子
フレッシュミズ部会長 松本 典 子

豊頃町農政協議会

執行委員長 前田 精 一
副執行委員長 伊井田 慎 一
副執行委員長 井下 清 一
書記長 高木 寿 一

5月7日、とよころ物産直販売所において豊頃町酪農振興会（会長 相澤和幸）が直売所商品お買い上げ2,000円以上のお客様に牛乳1Lを提供しました。この活動は同振興会の本年度活動計画の取組11項目のうち「牛乳・乳製品の消費拡大」の一環として、さきの定期総会の際に役員が提案しました。

参加した相澤会長は「午前中に用意した牛乳100本の引き換えを完了した。町内のお客様が多く、ホクレン作成の『ミルクでかんたんおもてなしレシピ』を同梱し、牛乳・乳製品の消費拡大へのPRができた。年内は町内のお祭り等イベントにおいて出展を検討し、町内外の方を問わず消費に向けた運動を行いたい。」と述べました。

乳製品消費拡大運動

豊頃町酪農振興会



3年ぶりの

豊頃町総合家畜共進会を開催！



6月6日、とよころ農業機械センター倉庫にて町総合家畜共進会を開催しました。15頭が出陣し、十勝農業協同組合連合会酪農畜産課主幹の千葉拓也氏による毛並みや足及び胸部の力強さなど一頭一頭じっくり審査を行いました。最高位に株式会社武隈ブリーディングファームさん出品の「みどり3」、準最高位に篠島太郎さん出品の「るる」が入賞しました。

なお、各部門の成績は以下のとおりです。

黒毛和種の部

◎第1部（11ヶ月以上～14ヶ月未満）未経産

首席 る る（篠島太郎）

優秀賞 ゆ り り（日下貴弘）

◎第2部（14ヶ月以上～17ヶ月未満）未経産

首席 みどり3（株式会社 武隈ブリーディングファーム）

優秀賞 みどりのこ3の3（株式会社 武隈ブリーディングファーム）

◎第3部（17ヶ月以上～20ヶ月未満）未経産

首席 なおかつ（安藤 誠）

優秀賞 ま お（愛澤利憲）

◎第4部 経産

首席 ま こ（藤井裕也）

優秀賞 み さ き（門 伸洋）



フォーレージハーベスター入魂式 とよころ農業機械センター

農事組合法人ととよころ農業機械センター（代表理事 相澤和幸）は6月中旬より開始する1番牧草（約2,320）の収穫を控え、クラス社製ハーベスター（653ps）を導入しました。

同機種6機を8年サイクルで更新し、昨年1年をにおいて以降3年連続で年間1機ずつ更新します。フロントアタッチメントの牧草収穫用ダイレクトサイレージカッター、デントコーン収穫用ロータリークロップのほか、コーンクラッカー機構を内装し、コーン子実に傷をつけ、家畜の消化吸収率の向上につなげます。

式終了後の相澤代表理事の挨拶では「昨今の穀物市況の高騰が経営を圧迫している。良品質な粗飼料の生産を行い、農業者と役職員一同の努力によりこの苦境を乗り越えたい」と述べました。

株式会社シー・ブライツ視察受入

6月8日に株式会社シー・ブライツ（代表理事 桐山靖朗）が乳用牛哺育センター設立準備にむけた町外の農業者6名と農協等職員数名の視察を受け入れました。農業改良普及センター東部支所の荻野氏が午前中は「預託農場 櫻井康雄農場」、午後からは「哺育センター シー・ブライツ」の概要説明を行いました。櫻井さんの哺乳管理は粉ミルクの給与は一切行わず、冷凍初乳と初乳と全乳の給与を行い、個体は血清タンパク質質が高く、過去10年において全頭5.0g/dl以上です。この値と免疫の移行は比例し、離乳時の発育が良好です。出席した櫻井康雄さんは「妻が冷凍初乳の保存や管理など哺乳管理の勉強してきた努力の成果があって、非常に喜んでる。」とコメントしました。また、午後には桐山靖朗さんが出席し、個体を預託するまでのルール作りの重要さや設立経緯などを説明する中、「1戸の個人が哺育法人成りする場合と、委託希望全戸が出資して立ち上げた場合には違いがあり、前者のケースでは委託先に思いを発信し、いかに理解してもらうかが重要である。」と述べました。



麦作振興会



農野牛農事組合

麦作振興会・農野牛農事組合 青空教室を開催!

6月8日、豊頃町麦作振興会（原田二次雄組合長）主催による青空教室を、按田吉久さん（育素多地区）の小麦圃場において開催しました。当日の天候は曇天のため肌寒い中でしたが、十勝農業改良普及センターによる「秋まき小麦の生育状況及び赤かび病の防除」についての研修を行いました。コロナ禍における自粛等もあり3年ぶりの開催であった研修会には約30名の会員が参加し、今後の圃場管理等熱心に勉強しました。

また、6月20日は、農野牛農事組合による同様の研修及びeセンシングを活用した圃場の気温や土中温度、湿度の管理を行う新しいツールの活用方法についての説明もあり、参加者はとても興味を示した様子でした。

令和4年度 青年部&豊頃小学校 第1回食育授業を開催

豊頃小学校4年生15名を対象に、第1回目（5月）の食育授業を行いました。今回は、馬鈴薯、人参、玉ねぎの播種・定植作業を行いました。子どもたちは皆楽しそうに作業を行いました。種の小さい人参の播種は、2列で植えるはずが3列、4列と増えていきました…。毎年その現象は起きるので、みんな人参が大好きでたくさん植えたいという願望なのでしょうね！収穫時期が楽しみです！

最後に高橋部長から「今年も食育活動ができて嬉しく思います。子どもたちには食育を通じてたくさんのことを学んでもらいたいです。私たちも子どもたちと触れ合うことができて楽しいです。」とコメント。



管内研修

6月8日、管内研修を実施しました。当日は25名の盟友が参加し、畑作部会と畜産部会に分かれて視察研修を行いました。畑作部会は主に小麦・馬鈴薯・豆類等を栽培する有限会社鈴鹿農園（芽室町）を視察しました。畜産部会は乳牛の哺育・育成を受託する株式会社シー・ブライト（豊頃町）を視察しました。

鈴鹿農園は会社概要の説明後、外国のトラクターやコンバイン、ハーベスター、各施設を、シー・ブライトでは会社概要の説明や導入舎や哺育舎、哺乳ロボット等各施設を質問を交えながら見学しました。

川口知紘 畑作部会長のコメント

国内ではなかなか見ることの出来ない最新鋭の機械や設備を見学することができ、とても勉強になりました。今回の研修を今後の営農に活かします。

武内 創 畜産部会長のコメント

導入舎では徹底した哺育管理を行っており、哺育舎では、哺乳ロボット・牛舎内の通路・牛床等もきれいに管理されており、牛舎環境の維持が牛の疾病対策につながることを教えていただき、とても勉強になりました。



畑作部会



畜産部会

青年部×農協職員交流会を開催！

4月22日、2年ぶりに青年部と農協職員の交流会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中、全体で50名程度が参加し、青年部員と農協職員が焼肉を楽しみながら交流を深めました。

まず初めに、青年部長が挨拶し、職員組合の委員長より乾杯、次に農協の新入職員の自己紹介をしました。また、本交流会にはJA北海道中央会の研修職員も参加し、青年部や同世代の農協職員との貴重な交流の場を楽しみました。

コロナ禍によって交流が制限される中で、本交流会は若い世代の新しい繋がりを作る良い機会になりました。

高橋部長は、「こんなにも大勢の職員が参加してくれてうれしい。ありがたい。」と青年部と農協職員の交流を喜んだ様子でした。

「ふるさと給食」食材提供 ～食育支援と地産地消～

6月23日、豊頃小学校にて川口修専務理事が食育訪問を行いました。1～3年生の各教室をまわり、切干大根や地元の農産物についてお話ししました。「皆さん切干大根は好きですか？」と聞くと、「すきー」「おいしー」と元気な声で返事があり、川口専務も嬉しそうに微笑んでいました。

青年部を中心に活動する食育の一端であり、地場産の食材を知るところを目的に食材の提供を行います。



砂糖消費拡大



砂糖消費拡大運動の一環として、4月26日に商品の申し込みのあった組合員へ配送しました。商品は、上白糖やグラニュー糖の砂糖類の他、オロナミンC、コカ・コーラなどの飲料、ロツテ、森永、ブルボンのお菓子詰め合わせです。

今回の消費拡大運動は、一昨年から新型コロナウイルスの影響により、お土産や贈答用菓子の売り上げが落ち込み、原料である砂糖の消費に大きな影響を及ぼしていることを理由に開始しました。



今回の新婚さんは牛首別地区（畑作）の松崎永慈さん、純鈴さんご夫婦です。お二人は、高校時代に共通の友人を通じて知り合いました。交流を重ねていくうちに互いに惹かれ合い、2019年の7月に交際をスタートし、2年6ヶ月の交際期間を経て2022年1月8日にめでたく入籍しました。

Q お互いの好きなところは？

A 永慈さん「素直で料理上手なところ」
純鈴さん「やさしいところ」

Q 休日はどのように過ごしますか？

A 十勝管内の道の駅へドライブに行きます

Q どんな家庭を築いていきたいですか？

A 楽しく笑顔が絶えない家庭

今回は松崎ご夫婦から楽しいお話をたくさん伺いました。

他にもいくつか質問をし、共通の趣味はハムスターのお世話です。なんて愛くるしいのでしょうか。また、温泉が好きなので、阿寒温泉等へ旅行しました。思い出に残っている出来事は十勝毎日新聞社の花火大会を見に行ったことです。今年は久々に開催するので、楽しみです！たくさん思い出等を作って幸せな家庭を築いていただきたいですね！

お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。末永くお幸せに！



松崎 永慈^{えいじ}さん・純鈴^{すみれ}さん



フレッシュミズ部会 親睦会

女性部の窓

4月20日、農協研修講義室にてフレッシュミズ部会親睦会が開催しました。当日は7名が参加しハーバリウム作りを行いました。皆さんお話をしながら楽しく作業を進め、時間内に完成することが出来ました。ハーバリウムの色によって和紙の切る形に違いがあり、皆さんで見せ合い終始和やかな雰囲気でした。「思っていたより時間がかからず、作りやすかった。」「家に帰ってどこに飾ろうかな」と感想をいただきました。



松本典子部会長のコメント

新型コロナウイルスの感染が拡大している中で、参加者は少なかったですが、久しぶりに集まり楽しく交流できてとても嬉しく思います。今後も、感染対策を講じながら活動したいと思っています。

4月15日、農協大会議室にてミセス部会交流会が開催しました。当日は21名が参加し、和柄の布を使用しがま口財布とスマホケース作りを行いました。説明書を見ながら皆さんあっという間に完成しました。終始笑顔でお話をしながら楽しんでいました。部員の方は「スマホケース作りが難しくて完成出来なかったので家でゆっくり作ります」、「皆さんと久しぶりに顔を合わすことができてうれしかった」と感想をいただきました。

按田成子部会長からのコメント

なかなか思うように行事ができない中、皆さんに集まっていた楽しい時間を過ごすことができ嬉しく思います。

ミセス部会 交流会



すみれ部会 交流会



せです。集合時間より早めに来てお風呂やお部屋でゆっくりくつろいでいる方もいました。

津久井淑恵部会長からコメント

久しぶりに皆さんにお会いでき、とても嬉しかったです。次回もまた楽しくお話が出来ることを願っています。

6月7日～8日、十勝川温泉第一ホテルにてすみれ部会交流会を行いました。当日は、13名が参加し、すべての地区そろっての活動は約1年ぶりとなりました。夕食は宴会でビンゴ大会を行い大盛り上がりでした。

1位は加藤京子さん（十弗地区）と桐山明子さん（統内地区）の2名でした。景品はお米や洗剤などの日用品の詰め合わせです。



農政協議会 定期総会

4月13日、令和4年度定期総会を三役の他4名が参加し、計8名で開催しました。書面による決議を行いました。

議事は令和3年度運動経過報告、収支決算報告の承認のほか、令和4年度運動方針案、収支予算案の承認など7議案を審議し、全議案を賛成多数で可決しました。



第50回 定期総会

生甲斐部

4月28日に書面による決議方式で定期総会を開催し、書面含め33名が出席しました。議事は令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画案及び収支予算案など全4案を提出し、全て原案通り可決しました。

事業計画では、昨年度開催したパークゴルフとゲートボール大会のほか、中止した研修旅行及び新年会の開催を計画しました。

また、次年度は部創設50周年にあたり、本年度中に現役員を構成とした記念事業実行委員会を発足し、事業実施に向け始動します。部員の皆様、各関係者の方にはぜひご期待いただくとともに、運営に対しご協力をお願いします。

また、役員会において新役員の報告がありました。欠員地区の役員補充等は記載のとおりです。

令和4年度 役員体制

部 長	加 藤	敏
副部長	津久井	清 美
理 事	藤 本	不二男
理 事	花 見	武 男
理 事	井 下	英 透
理 事	谷 野	由 博
理 事	小野寺	真太郎 (新)
理 事	渡 部	健 一 (新)
監 事	岡 光	豊 治
監 事	山 本	達 実

すみれ部会 花壇整備



6月14日、農協前の花壇に黄色のマリーゴールドと赤いサルビアの植え付けを行いました。今年度の花植えは二宮地区の皆さんと部会長の津久井淑恵さんです。前日に雨が降りましたが、皆さん手際よく進めあっという間に作業が完了しました。

作業終了後はベンチに座って休憩。お菓子を食べながら和気あいあいとお話しました。「今年もきれいだね」、「花がすごく大きい!」などの声がありました。今年も立派に育ってくれるといいですね。7月からは除草など花壇を管理します。

今年度の片づけは10月を予定しています。皆さん、農協にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



一斉入牧



5月19日から26日まで、町内三牧場で入牧を実施しました。

トイトッキ牧場97頭、二宮牧場469頭、湧洞牧場279頭、計845頭を受け入れ、消毒、予防接種後に牧草地に放牧しました。下牧まで約5か月間、栄養満点の牧草をたくさん食べ、大きく成長し酪農家の元へ戻ります。



今月号は経済部購買課の宝田ゆかりさんの紹介です。畜産部、農産部を経て、平成30年に正職員になりました。

主な業務は、肥料・飼料の伝票打込みや仕入売上の計上など購買店舗での経理業務です。

趣味は、中学時代から続けているクラリネットの演奏で、コンサートにも参加しています。

上司からは、「笑顔で接客してもらえてお客さんからも評判が良いです。これからも笑顔を絶やさずがんばってほしい。」とコメント。

今後の抱負「覚えることがたくさんあ

るので、まずは自分の仕事を覚えます。皆さんやさしく職場環境も良好であり、仕事しやすいです。これからも頑張って参りますので、よろしくお願い致します。」



編集後記

最近の天候はどこか様子が変わりますよね。6月後半から7月にかけて晴れた日がとても少なかったように感じます。ずっとジメジメした感じでした。はっきりしない天気ですので、皆さん体調にはお気を付けください。

最後になりますが、ダイエットを始めて半年が過ぎました。少しずつ減り、停滞し、少し増え、少し減りつつある今日この頃ですが、あと半年で目標を達成できるか少し不安になってきました。まだ半年あると思いたいです。もう半年しかないのです。ここから後半戦頑張ります。

企画振興係 T. S

7月といえばお祭りや花火ですよね。今年はイベントがたくさんあるのでとても楽しみにしています。

先月すみれ部会の交流会に同行し、十勝川温泉へ行きました。温泉に入り、美味しい料理食べとても幸せな時間でした。道外研修も無事開催できることを祈るばかりです。

この時期、畑の管理作業や牧草の収穫等、外での作業する機会が増えると思いますが、農作業事故や熱中症には十分お気を付けください。

7月号の取材に協力してくださった皆様ありがとうございました。

企画振興係 R. H